

# Streampix を用いた GE1650 のコンピュータトリガ制御法

2007.09.20 S.UeNo

## 【準備】

### ■望遠鏡制御プログラム

F8: Parameter Change にて、Sequence/Velocity を 0.2 にセット

### ■望遠鏡VMD盤上でのスキャンモードの設定

#### SEQUENCEパネル

“TEMPORAL STEP WIDTH”

000.5 s

“SPATIAL STEP WIDTH”

スキャンしたい幅を入力

100～198秒角の場合は 1/2 の値を入力の上、

望遠鏡制御プログラムで F8: Parameter Change にて、Sequence/Spatial Step を 2 にセット

“EXPOSURE TIME”

00.5 s

“NO OF STEPS”

01

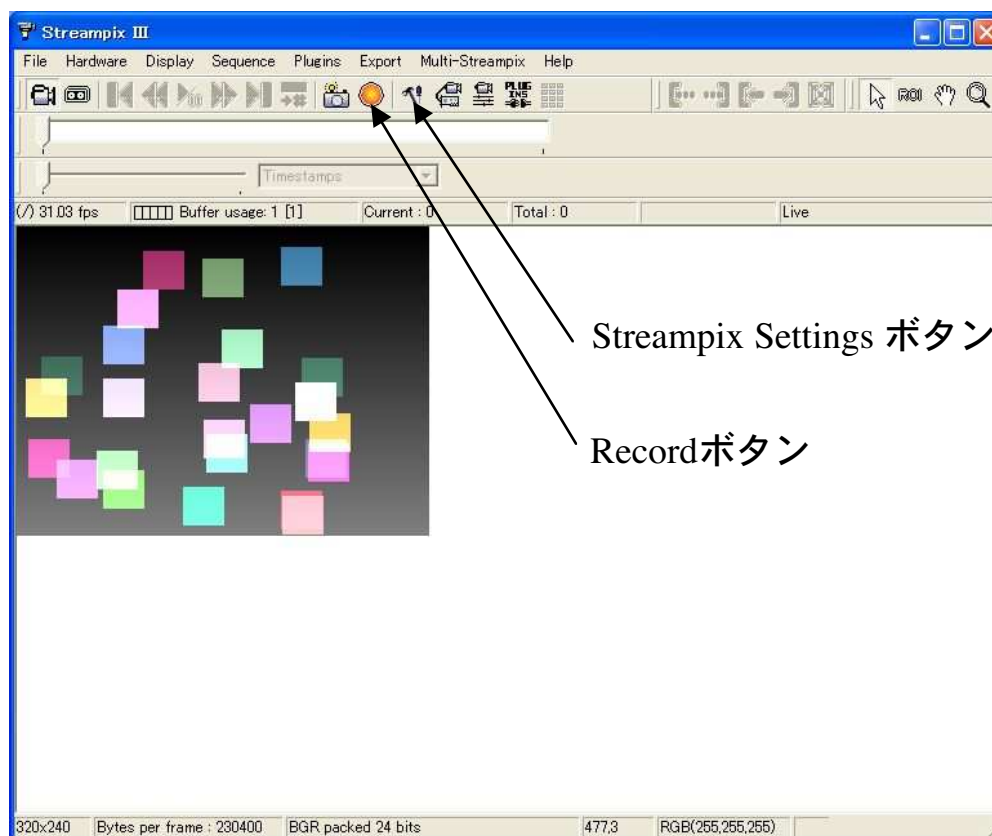
“NO OF CYCLES”

1 ～ 98

の範囲で天候に応じて入力

N字型スキャンモードのボタンを押して選択

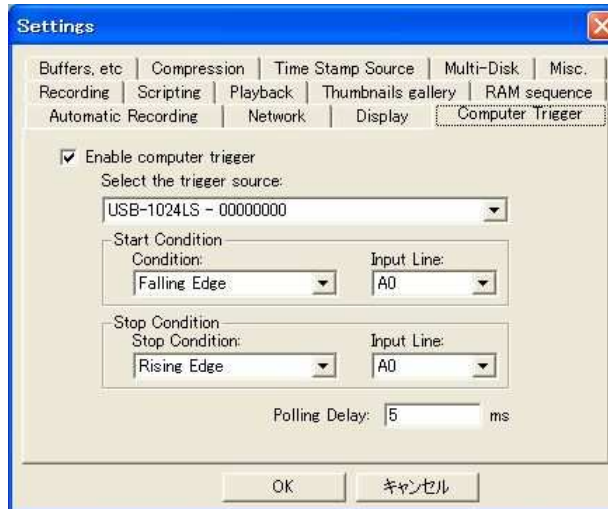
## 【Streampix 上での設定】



(1) まず Streampix Settings ボタンを押して、Settings ウィンドウを開ける。

## ■ Computer Trigger タグ

設定が既に下図のようにになっていることを確認。



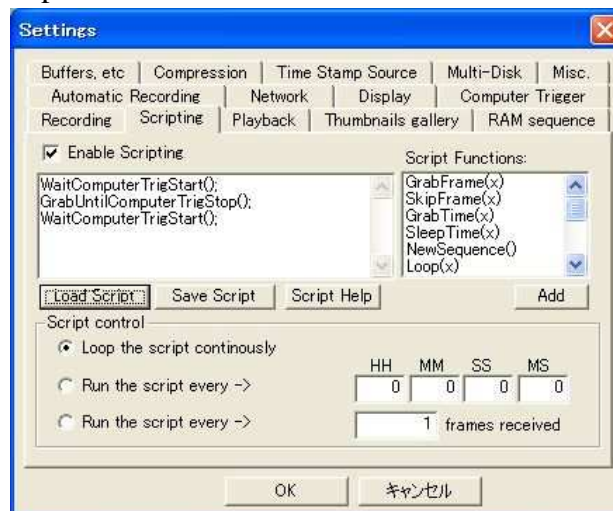
## ■ Script タグ

下図のように、”Enable Scripting” にチェックを入れ、

“Load Script” を押して、C:\¥GE1650script¥computer\_trigger01.ss を選択する。

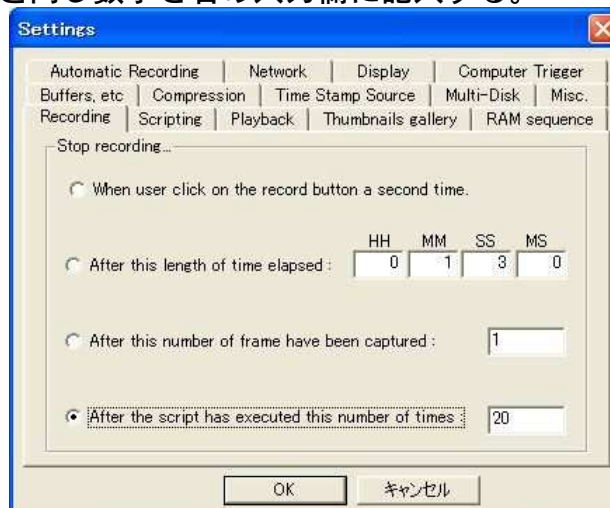
すると、下記のような3行のスクリプトが表示される。

“Script control” 欄は、Loop が選択されている事を確認。



## ■ Recording タグ

下図のように、”Stop recording” 欄は一番下を選択し、準備で望遠鏡VMD盤の “NO OF CYCLES” に入力したサイクル数と同じ数字を右の入力欄に記入する。



OKを押して、Settings 画面を終了させる。

(2) メニュー中から File / New Image Sequence / Tagged Image File (tif) を選択し、Dドライブ若しくはEドライブの下に当該スキャン用のフォルダを作成し（例えば60サイクルのスキャンを行なう場合は、scan??\_60 (?: 通し番号) のようなフォルダ名にすること）、ファイル名欄に scan?? と入力の上、「保存」を押す。

(3) 撮影開始：

“Record” ボタンを押す → トリガー待ち状態

望遠鏡VMD盤上の「SEQU」ボタンを押す → 望遠鏡がスキャンを開始すると共に、スキャンの往路時のみカメラ取込みが自動的に開始される。

設定したサイクル分スキャンが終了したら、「SEQU」ボタンの赤色ランプが消灯するので、(2)に戻り、次のスキャンの準備をする。以降この繰り返し。

#### 【参考】

所要時間の目安として、例えば SPATIAL STEP WIDTH を 120 秒角とし、60サイクルのスキャンを行なう場合は、1シリーズの観測所要時間は、約30分になる。